

2020.06.01

2020年度 関東地区 スプリント・ロングセレクションに関して

関東学生オリエンテーリング連盟
幹事長 若月 俊宏

関東学連所属の競技者の皆様

先日はセレクション開催可否に関する議論にご協力いただき、ありがとうございました。関東学連にて投票を行い、連盟規約第20条(*1)に基づき今年度セレクション開催に関する措置を決定いたしました。今回は、学連としての決定事項をご報告させていただくとともに、今後の方針を共有させていただきます。

(*1)▼関東学生オリエンテーリング連盟規約

<http://www.orienteering.com/~uofj/kanto/media/documents/20130227-kanto-gakuren-kiyaku.pdf>

1. 開催可否に関する決定事項

先日行われたセレクション開催可否に関する議論・投票(*2)をもとに、学連としての方針・措置を以下のように決定いたしました。

①課外活動を解禁されている大学とされていない大学がある場合の措置

◎中止時と同じ措置を取る（＝計算式により各クラブへ枠を分配する）(*3)

→賛成多数で承認

②全ての大学で課外活動が解禁されているものの、練習期間に不公平がある場合の措置

◎レースによるエリートの選出を行う（＝通常通りのセレクションを行う）

→全会一致で承認

(*2)▼セレクションの開催可否に関して（2020.05.25）

<https://drive.google.com/open?id=16gS22NbZy7IHibra8rWKAU5q6SleiGWb>

(*3)▼セレクション中止時の措置（2020.05.02）

<https://drive.google.com/open?id=1EaievB-EeACsVLMtqyGURGUB4oU0k0d0>

なお、今回の中止時の措置に関して「ロングセレクションにおける参照レースについての特例措置」と「スプリントセレクションにおける規約草案」は、先日行われた第1回関東学連臨時総会にて**全会一致**で承認されました。

2. 今後の方針

2.1 開催可否の判断について

開催可否の判断が現時点で行えないのは、多くの大学(*4)から出されている課外活動自粛要請において「期限が無期限と設定されていること」「期限がたびたび更新されていること」に起因しています。ここでは現時点で考えられるケースにおける、開催可否判断のパターンを以下に示します。

①『セレクション開催予定日』以降の『課外活動自粛解禁予定日』が大学(*4)から提示された場合

→「中止時と同じ措置を取る」ことを即刻決定

②『セレクション開催予定日』から約1ヶ月(*5)前の時点で、課外活動自粛期限が『無期限』となっている大学(*4)がある場合

→「中止時と同じ措置を取る」ことを決定

③『セレクション開催予定日』から約1ヶ月(*5)前の時点で、全大学(*4)の『課外活動自粛期限』が、具体的かつ『セレクション開催予定日』よりも前に設定されている場合

→「レースによるエリートの選出を行う」ことを決定

上記以外のケースが生じた場合は、学連内で協議の上で柔軟かつ早急に対応いたします。

(*4)ここでの大学は、関東学連に加盟している大学のうち、セレクションクラスにエントリーする意思のある大学を対象とします。

(*5)現時点での目安です。具体的な期限については実行委員会と協議の上、公表いたします。

2.2 中止時の措置における各クラブへの分配枠数について

日本学連技術委員会から『各部門の競技者配分（各地区学連の枠数）』の発表があり次第公表いたします。なお、各クラブへの分配枠数の発表は、『2.1 開催可否の判断』とは無関係になるべく早いタイミングで行います。これは、各クラブ内での選考にかけられる時間を十分に確保するためです。

2.3 中止時の措置におけるクラブ内選考について

中止時の措置を取る場合は各クラブに分配された枠の通過者リストの正当性の確保を強く要望します（クラブ内選考の透明性確保のために、書面にて選考方法などの回答をお願いし、学連・関東学連所属の競技者・セレクション実行委員会内で共有・公開する等の追加措置をとる可能性もあります）。推薦枠に有力選手を回す等の行為を避け、スポーツマンシップに則った選出を期待します。

ご不明な点は、各校渉外までお問い合わせください。

関東学生オリエンテーリング連盟
幹事長 若月 俊宏